

ロシア経済・金融概況

Main Economic & Financial Indicators (Russia)

経済調査室

Economic Research Office

(照会先：石原尚子 naoko.ishihara@uk.mufj.jp)

概況	消費
<p>ロシア経済を取り巻く環境は引き続き厳しい。2014 年の実質 GDP 成長率は前年比+0.6%と主要けん引役である個人消費の鈍化及び総固定資本形成、輸出の縮小を背景に前年の同+1.3%から半減、2009 年の景気後退以来の低水準となった。足元では、年初にかけてのルーブル急落を受けた輸入物価の上昇が既に上昇基調にあったインフレ率を押し上げ、インフレ率は 3 月に前年比+16.9%と約 13 年ぶりの高水準となった。高インフレに伴う実質購買力の低下により、年初以降個人消費の勢いは急速に鈍化。総固定資本形成も、厳しい資金調達環境、企業収益の悪化、先行き不透明感の強まりなどから縮小基調にある。中銀は、直近の金融政策レポートの中で、今年上半年期、消費は実質賃金の減少及びポイントの悪化、貯蓄性向の高まりなどから、前年比▲2.0~▲2.5%、総固定資本形成は、エネルギー関連企業の投資計画の縮小などを背景に同▲6~▲7%となり、実質 GDP は同 2%程度縮小するとの見解を示している。</p>	<p>3 月の小売売上は、前年比▲8.7%と前月の同▲7.2%から減少ペースが更に加速。昨年末までは、ルーブル安とそれに伴う高インフレへの自衛策として、国民の多くが自動車や家具などの高額財を購入したことから消費は一時的な盛り上がりを見せた。しかし、こういった動きに持続性はなく、今年に入り小売売上は急速に減少している。消費者心理は、実質購買力の低下や失業率の上昇などを背景に 2009 年の景気後退時の水準 (-32) まで悪化。個人消費の影響を強く受けるサービス部門の 3 月の購買担当者指数 (PMI) も 46.1 と 6 カ月連続で拡大・縮小の分岐点である 50 を下回る状態が続いている。</p>
<p>GDP</p>	<p>消費、労働市場 (前年比、%)</p> <p>(注) 実質賃金上昇率は3ヵ月平均値 (資料) Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p>
<p>2014 年第 4 四半期の実質 GDP 成長率は前年比+0.4%と前期 (同+0.9%) の伸び率から一段と減速した。個人消費は、同+1.0%と比較的高めの伸びとなったが、これはルーブル安がもたらす輸入品の高騰に備え、消費者が資産防衛として高額財を購入したことによる一過性のものと判断される。また、政府消費支出、総固定資本形成は、同▲0.2%、同▲1.2%といずれも低調だ。輸出も同▲2.3%と前期からマイナス幅が拡大した。ただし、内需鈍化を背景に輸入が同▲7.8%と輸出を上回るペースで縮小したため、純輸出の寄与度はプラスとなった。高インフレ、厳しい資金調達環境など、先行き不透明感は根強く、内需は軟調な推移が続こう。</p>	<p>物価、金融政策</p>
<p>実質GDP成長率と需要項目別寄与度 (前年比、%)</p> <p>(資料) Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成 (年)</p>	<p>3 月のインフレ率は前年比+16.9%と前月の同+16.7%から更に加速、約 13 年ぶりの高水準となった。食料品輸入の禁止措置を受けた食料品価格の高止まりにルーブル安による輸入品価格の上昇が加わり、昨年 12 月以降インフレ率は一段と加速。</p> <p>一方、ロシア中銀は、3 月の金融政策委員会で政策金利を 1%ポイント引き下げ 14%とする決定を行った。1 月末の利下げに続く 2 度目の利下げで、下げ幅は累計 3%ポイントとなる。中銀は、昨年、ルーブルの下落とインフレへの対応として、計 11.5%ポイントの利上げを実施するなど金融引き締め姿勢を強化した。しかし、昨年末に実施された国営輸出企業に対する外貨建資産保有高の上限設定といった事実上の資本規制や油価の底打ちを受け、2 月以降ルーブルは反発。加えて、景気悪化の深刻化もあり、中銀は金融引き締め姿勢の緩和余地を探っている。</p>
<p>生産</p>	<p>国際収支</p>
<p>3 月の鉱工業生産は前年比▲0.6%と電力・ガス等の公益部門がプラスに転じたことなどで前月からマイナス幅は縮小。一方、製造業は同▲1.9%と年初以来マイナスの伸びが続いている。昨年はルーブル安に伴う国内産品への需要シフトなどが支えとなったロシアの製造業であるが、今年に入り国内消費の減少をはじめとする総需要減退の影響が顕在化しつつある。先行指標である製造業の購買担当者指数 (PMI) は、昨年 12 月以来、拡大・縮小の分岐点である 50 を下回る状況が続いており、直近 3 月は 48.1 に悪化。輸出部門の新規受注が 43.8 と低調であったことに国内消費の減速が加わり、全体の新規受注も 48.6 と再び 50 を割り込んだ。</p>	<p>2014 年の経常黒字は 595 億ドルと、貿易黒字の増加及び所得赤字の減少を背景に前年の 348 億ドルを上回った。昨年後半の原油価格下落を背景に輸出は前年比▲4.9%となったが、輸入が輸出の減少幅を上回る減少 (同▲9.8%) となった結果、貿易黒字は増加。また、昨年第 3 四半期以降強化された欧米等による経済制裁でロシア企業・金融機関による国際市場へのアクセスが制限されたことで対外借入は減少。これを受け、所得収支赤字額は前年の 796 億ドルから 673 億ドルへと減少し、経常黒字を拡大させる一因となった。</p> <p>一方、2014 年の民間部門の資本流出額 (ネット、中銀供給の外貨流動性分は調整済) は 1,331 億ドルに達した。</p>

ロシア経済・金融概況

1. 年、四半期

	2012	2013	2014	14/Q1	14/Q2	14/Q3	14/Q4	15/Q1
名目GDP実額 (10億米ドル)	2,001.1	2,077.5	1,849.5	441.4	494.6	515.7	415.4	-
実質GDP成長率 (q/q, %)	3.5	1.3	0.6	▲ 0.2	0.2	0.0	▲ 0.0	-
(y/y, %)				0.6	0.7	0.9	0.4	-
(民間消費支出) (q/q, %)	7.9	5.1	1.3	1.0	▲ 1.7	1.9	▲ 0.3	-
(y/y, %)				4.0	0.2	0.2	1.0	-
(総固定資本形成) (q/q, %)	6.7	0.9	▲ 2.0	▲ 1.0	▲ 0.3	▲ 0.4	▲ 0.6	-
(y/y, %)				▲ 4.5	▲ 1.9	▲ 1.7	▲ 1.2	-
鉱工業生産(実質) (y/y, %)	3.4	0.4	1.6	1.1	1.9	1.4	2.1	▲ 0.4
小売売上(実質) (y/y, %)	6.5	3.9	2.6	3.9	2.2	1.7	2.9	▲ 6.6
銀行貸出伸び率(民間部門) (y/y, %)	19.6	17.2	22.8	17.4	15.3	15.3	22.8	-
消費者物価上昇率 (y/y, %)	5.1	6.8	7.8	6.4	7.6	7.7	9.6	16.2
平均賃金上昇率(名目) (y/y, %)	13.3	12.3	8.3	9.9	9.0	7.2	7.1	-
失業率 (%)	5.7	5.5	5.2	5.5	5.0	4.9	5.2	-
貿易収支 (百万米ドル)	191,663	181,938	189,737	50,508	51,693	45,267	42,269	40,300
輸出額 (百万米ドル)	527,434	523,276	497,762	123,012	132,323	125,746	116,681	86,600
輸出伸び率 (y/y, %)	2.3	▲ 0.8	▲ 4.9	▲ 1.7	4.0	▲ 4.0	▲ 16.5	▲ 29.6
輸入額 (百万米ドル)	335,772	341,337	308,026	72,504	80,630	80,480	74,412	46,200
輸入伸び率 (y/y, %)	5.4	1.7	▲ 9.8	▲ 5.3	▲ 4.5	▲ 7.8	▲ 20.0	▲ 36.3
経常収支 (百万米ドル)	71,283	34,801	59,462	25,857	12,197	6,019	15,389	23,542
資本収支 (百万米ドル)	20,459	45,819	91,754	46,973	27,688	▲ 4,005	21,098	27,900
対内直接投資 (百万米ドル)	50,588	69,219	20,958	12,865	12,131	▲ 608	▲ 3,430	-
外貨準備高 (百万米ドル)	486,577	469,603	339,370	442,773	431,956	409,223	339,370	309,093
対外債務残高 (百万米ドル)	636,420	728,864	597,254	715,892	732,777	680,857	597,254	559,359
株価指数 (MICEX index)	1,453	1,441	1,430	1,426	1,404	1,432	1,456	1,656
短期金利 (Interbank 3m)	7.3	7.3	10.0	7.7	9.3	9.7	13.3	20.1
Rouble/USD	31.1	31.9	38.6	35.0	35.0	36.3	48.0	62.9
Rouble/Euro	39.9	42.3	51.0	48.3	47.9	45.9	58.1	67.6
Rouble/GBP	49.2	49.9	63.4	58.4	59.8	58.8	74.8	93.4
原油価格(ブレント) (USD/バレル)	111.8	108.7	99.5	108.1	109.7	103.8	76.8	55.2

2. 月次

	14/08	9	10	11	12	15/01	2	3
鉱工業生産(実質) (y/y, %)	0.0	2.8	2.9	▲ 0.4	3.9	0.9	▲ 1.6	▲ 0.6
小売売上(実質) (y/y, %)	1.6	1.8	1.7	1.9	5.1	▲ 3.9	▲ 7.2	▲ 8.7
銀行貸出伸び率(民間部門) (y/y, %)	14.5	15.3	16.6	17.9	22.8	25.4	22.2	-
消費者物価上昇率 (y/y, %)	7.6	8.0	8.3	9.1	11.4	15.0	16.7	16.9
平均賃金上昇率(名目) (y/y, %)	5.3	8.8	7.9	7.4	6.3	4.7	4.7	-
失業率 (%)	4.8	4.9	5.1	5.2	5.3	5.5	5.8	-
貿易収支 (百万米ドル)	18,076	14,269	16,539	15,317	15,183	17,018	-	-
輸出額 (百万米ドル)	41,473	38,409	41,506	36,794	37,992	28,210	-	-
輸出伸び率 (y/y, %)	▲ 2.3	▲ 15.1	▲ 5.4	▲ 22.4	▲ 23.9	▲ 28.7	-	-
輸入額 (百万米ドル)	23,397	24,140	24,967	21,477	22,809	11,192	-	-
輸入伸び率 (y/y, %)	▲ 10.0	▲ 8.1	▲ 11.1	▲ 21.0	▲ 23.3	▲ 40.9	-	-
株価指数 (MICEX index)	1,404	1,442	1,395	1,514	1,467	1,562	1,755	1,660
短期金利 (Interbank 3m)	9.8	9.9	10.0	11.3	18.3	23.8	18.8	17.5
Rouble/USD	36.2	38.0	41.0	46.2	56.5	64.3	64.4	60.2
Rouble/Euro	48.2	49.1	51.9	57.5	70.0	74.9	73.1	65.1
Rouble/GBP	60.4	62.0	65.8	73.0	88.8	97.4	98.7	90.1
原油価格(ブレント) (USD/バレル)	103.5	99.1	88.6	79.5	62.6	50.1	58.9	56.8

(注) 年次、四半期の貿易収支、輸出入額は、国際収支から採用。

(資料) ロシア中央銀行、ロシア統計局、Macrobond他

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいませ。宜しく願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。